

2019年 4月 24日

大学共同利用機関法人
自然科学研究機構国立天文台
大学院教育委員長 関井 隆

2019年度国立天文台・総合研究大学院大学
サマースチューデントプログラム（夏の体験研究）募集要項

大学理工系学部2年または3年に在学する学生（高等専門学校の同等学年に在学する者を含む）を対象として、国立天文台・総合研究大学院大学サマースチューデントプログラムを実施します。本プログラムは、8月初旬から9月初旬までの2～4週間程度、学部学生が国立天文台に滞在し、受入教員の指導のもとで研究を行うことができる制度であり、天文学研究に強い意欲のある学生に研究の機会を設けることにより、将来、天文学研究を志向する人材を育成することを目的とします。

1. 受入期間について

本プログラムでは、所定の受入期間において、国立天文台の三鷹（東京都）、水沢（岩手県）、神岡（岐阜県）、ハワイ及びサンチアゴ（チリ）のいずれか一つのキャンパスに滞在して研究を行うとともに、研究終了後に国立天文台三鷹キャンパスで開催する合同発表会にて成果発表を行います。

実際の研究実施期間は、採用後に各自が受入教員と打ち合わせて決めていただきます。

受入期間（プログラム全体）	成果発表会
2019年8月5日（月）～ 2019年9月2日（月）	2019年9月3日（火）

2. 宿泊場所及び研究場所について

期間中は宿泊場所（キャンパス内の宿泊施設又は近隣の民間ホテルを予定）を提供し、所属大学からの旅費と宿泊施設の宿泊費を援助するとともに、国立天文台内に研究場所を確保します。受入教員の指示のもと、必要な研究設備を利用することもできます。

3. 受入人数について

本年度は選考により、下記のとおり10名程度を受け入れることとします。1名あたりの旅費及び滞在費の援助額については、上限10万円（ハワイ・チリは15万円）となります。この金額を超えた場合は、超過額につき自己負担が生じる可能性がありますのでご了承ください。（昨年度実績 応募総数45名、採用数16名）

4. 旅費支給額について

旅費支給にかかる計算は下記のルールに基づき行います。

- 起点は原則として所属大学の最寄り駅（又は最寄りバス停）です。
- 学割運賃を適用して旅費を計算します。
- 日当は支給されないため、期間中の食費等は自己負担となります。
- 航空機利用の場合、なるべく安い料金の便をご利用ください。
- 原則として精算払い（プログラム終了後の振込）ですが、立替払いが困難な場合はお早目にご相談ください。

5. 申込みについて

総研大天文科学専攻ウェブに掲載されている各教員の指導プランを参照し、希望受入教員を決めたうえで、参加申込書（別紙様式 1）を下記提出先まで郵送してください。

併せて、指導教員の先生に推薦書（別紙様式 2）を記載、押印していただき、先生から直接、国立天文台大学院係（daigakuin@nao.ac.jp）に PDF の形式でメール添付で送っていただくように依頼してください。

採否は 6 月初旬に参加申込書に記載された連絡先に電子メールで通知します。

総研大天文科学専攻ウェブページ <http://guas-astronomy.jp/>

応募締切	2019 年 5 月 20 日（月）必着
提出先	〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台研究推進課大学院係
問い合わせ先	daigakuin@nao.ac.jp

以上